新任医師・メディカルスタッフ紹介



放射線科　畑中　義美

令和4年4月1日より当病院の放射線科に週４日勤務することになりました。出身は鹿児島県で、熊本大学医学部を昭和57年に卒業後、熊本大学放射線科に入局し、現在に至っています。月曜日から木曜日のCT、MRの読影業務ですが、各科のDr.のサポートができるように努力したいと思っていますので、よろしくお願いします。



整形外科　坂本　佳菜子

令和４年４月より当院整形外科に所属となりました、坂本佳菜子と申します。玉名市で生まれ熊本市で育ち、済々黌高校、帝京大学医学部を卒業後、国立病院機構　熊本医療センターで約２年間初期研修を行い、熊本大学整形外科医局へ入局後、熊本大学病院、熊本中央病院、熊本労災病院、大牟田天領病院、熊本医療センターでの勤務を経て、このたび当院に勤務させていただくこととなりました。当院では整形外科外来、入院、手術、救急外来での診療を担当しております。

周辺の医療機関と連携をとりながら、患者様、患者様ご家族のライフスタイルに合わせた最適な診療を行うことができるよう努力してまいります。お気軽にご相談ください。ご指導、ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。



理学療法士　髙田

熊本市民病院より異動して参りました、リハビリテーション室　理学療法士の髙田と申します。地域に密着したこの植木病院で少しでも患者さんの役に立ち、病院に貢献できるように頑張りたいと思っております。こどもの野球の応援と帰ってからのビールが最近のブームです。よろしくお願いいたします。



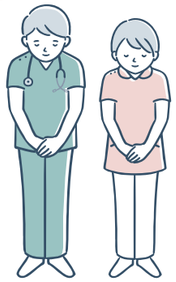
検査部　緒方

熊本市民病院から植木病院へ配属になりました緒方と申します。趣味は掃除と釣りです。酒は飲めませんが、コーラはたくさん飲みます。業務は主に生理検査（超音波検査や心電図など）を担当しております。どうぞよろしくお願いします。



薬剤師　高木

今年度より熊本市民病院より配属となりました薬剤師の高木と申します。趣味は、カフェめぐりとお酒です。患者様に寄り添った医療を提供できるよう頑張ります。



今年度から新規採用となりました看護師の宅間と申します。私は、患者様と誠実に接し、いつでも信頼していただけるような看護をしたいと思っています。頑張ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

今年度より新卒で４病棟に配属となりました看護師の坂井と申します。私は一日でも早く業務を覚えて、患者様やご家族に寄り添った看護が提供できるようになりたいと思っています。頑張ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

●MRI及び放射線専門医就任のお知らせ●

このたびMRI装置の更新となり、令和3年10月より稼動となりました。人工知能（ＡＩ）の発展を支える技術でもある“ディープラーニング”による高度な画像処理機能を搭載しており、より精細な画像を、検査時間を延長させることなく描出することができます。

また、今年度より放射線科専門医の就任となりました。今後、開業医の先生方からご依頼いただいたＣＴ・ＭＲＩ検査から読影まで迅速・円滑に対応し、より地域医療に貢献してまいります。

現在、外部依頼様式を作成しており完成しましたら、またお知らせします。



●特定保健指導を開始します●

【特定保健指導】

40～74歳を対象に、運動不足・かたよった食事・喫煙などの生活習慣が引き金となる生活習慣病の発症・重症化の予防を目的に、内臓脂肪に着目した保健指導です。

内臓脂肪には糖尿病や高血圧、脂質代謝異常症につながる危険因子がつまっており、内臓脂肪が蓄積するとウエスト周りが大きくなります。内臓脂肪の蓄積に血圧上昇や血糖高値、脂質の異常値が見られる状態をメタボリックシンドロームといい、放置しておくと脳梗塞や心筋梗塞などの原因となる動脈硬化のリスクを高めたり、生活習慣病を引き起こします。

（動脈硬化とは・・加齢、喫煙、高血圧、肥満、運動不足などの危険因子が重なることによって血管が硬くなり、血管の弾力性が失われることです。

弾力を失った血管は、脆く破れやすくなったり、詰まって血行が悪くなります）

各種健診で腹囲/体重測定や血圧測定、血液検査を行った結果、内臓脂肪の蓄積が疑われ（腹囲が大きい、もしくは体重過多）、メタボリックシンドロームに該当する、もしくは予備軍であると判断された方に対し、専門スタッフ（保健師、管理栄養士、医師など）が、以下のようなサポートを行います。



- **健診結果をもとに、ご自身の健康状態を正確に理解する**
- **現在の生活習慣を確認し、改善が必要な生活習慣を自覚する**
- **生活習慣の改善方法を考え、目標を立てる。継続的に取り組める方法を考える**

サポートには「動機づけ支援」と「積極的支援」があり、いずれの支援になるかは、健診の結果で判断します。

皆さん一人一人の生活環境は異なり、生活環境によって生活習慣も異なります。生活環境を踏まえながら、健康状態の改善につながる生活習慣を考えたいと思います。そして継続的な取り組みになるよう、目標が達成できるようサポートします。

植木病院だより

Vol.36
令和4年 春

発行所 〒861-0136 熊本県熊本市北区植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117
熊本市立 植木病院
発行人 掃本誠治





令和4年度が始まりました。年度の初めは人の異動や組織の改編もあり、個人も組織も期待に夢を膨らます時期ですが、今年も新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を払拭できない中でのスタートです。COVID-19によりお亡くなりになられた方、ご遺族の方に心からお悔やみ申し上げますとともに、今もなお闘病されている方々に心よりお見舞い申し上げます。

歴史を紐解けば、奈良時代にウイルス性の疫病が大流行し、地方の発生状況を中央の都に報告し、中央からは対応マニュアルが分配されて、場合によっては租税免除の措置がとられたりしました。645年大化の改新の中臣鎌足（後の藤原朝臣家の始祖）のお孫さん達が当時の政権中枢を担い対応にあたる公務のなかで亡くなっていますが、時代が変わっても保健所をはじめ行政の方々の激務に謝意を示しながら、わたくしたち医療者側も収束することを信じて、引き続き、全職員、感染対策にあたりながら診療・業務にあたる所存です。

さて、４月から新たに2名の医師が着任致しました。整形外科の坂本先生は常勤として整形外科3名体制となり、増加している高齢者の骨折手術やリハビリなど活躍を期待しております。また、放射線科専門医の畑中先生の就任により、迅速な読影で患者さまには大きなメリットとなり、開業医の先生方からのCT、MRI依頼・専門的読影により地域医療に貢献できると期待しております。熊本大学病院各講座の教授先生、医局長先生のご支援に感謝申し上げます。また、新人看護師、検査技師、理学療法士、薬剤師、事務局事務等、新しい流れがもたらされました。一隅を照らす気持ちで頑張って頂きたいと思います。

令和4年3月をもちまして診療部長三原通晴先生、薬剤部長財津克寿先生、臨床検査技師室長、看護師1名が定年退職しました。新しい環境でのご活躍を祈念致します（三原先生は当院で引き続き特任部長として診療頂きます）。また、コロナ禍の激動の2年間大変なご苦労をされた前事務局長に感謝致します。

令和の病院改革としまして、元年から整形外科手術と心臓カテーテル検査・治療を開始し、2年度に訪問看護ステーション独立化による地域包括ケアシステムへの関与を深め、脳卒中地域連携パスに加わりました。3年度は呼吸器専門医師、代謝内科医師を招聘し、また心不全療養指導士の育成と心臓リハビリテーションの開始により心不全患者の包括的ケアを地域全体、多職種で進めました。今年度（4年）は、健診部門におきまして、女性健診医師と専門保健師によるきめ細やかさの中に凛とした特定保健指導を開始し、予防面でも地域貢献致します。

当院医療圏は、人口の微減に対し高齢化率の上昇により（2025年予測35%）、慢性疾患増加、要介護・要支援者増加が見込まれます。高度急性期病院との病病連携により回復期・慢性期の医療、看護、リハビリ患者を増加させつつ、近隣開業医さまとの急性期等病診連携を深化させ、地域医療構想での立ち位置を確認しながら、“信頼と満足の得られる全人的医療の提供”の基本理念のもと、全職員（看護、医療、メディカルスタッフ、事務、委託の全部門を含めて）地域の保健・医療・福祉に貢献したいと存じますので、今年度も皆さまのご指導・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

病院長　掃本 誠治

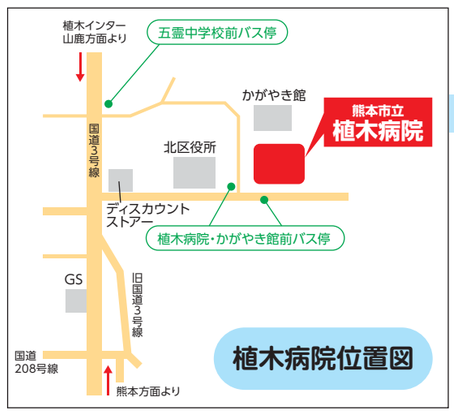
外来診療のご案内

（2022年4月1日現在）

	診療科	月	火	水	木	金
午前	消化器内科	豊田　直以	三原　通晴	三原　通晴	豊田　直以	三原　通晴
			古閑　千裕		古閑　千裕	
	循環器内科	廣田　晋一	掃本　誠治	掃本　誠治	廣田　晋一	掃本　誠治
		福田　仁也	廣田　晋一	福田　仁也	岩﨑　貴士	木山 卓也(非常勤)
	代謝内科・糖尿病	櫻田　郁	櫻田　郁	大津 可絵(非常勤)		櫻田　郁
	呼吸器内科	鈴村　智子	鈴村　智子	後藤　由比古	鈴村　智子	木村 俊貴(非常勤)
	腎臓内科			岡村 景子(非常勤)		
	外科				松本 千尋(非常勤)	
	整形外科	紫垣　光久	紫垣　光久	紫垣　光久	紫垣　光久	紫垣　光久
		坂本　佳菜子	橋本　憲蔵	橋本・坂本	坂本　佳菜子	橋本　憲蔵
	脳神経外科	吉里　公夫	吉里　公夫	吉里　公夫	吉里　公夫	吉里　公夫
	健診科	小阪 雅代(非常勤)	小阪 雅代(非常勤)	櫻田　郁	櫻田　郁	小阪 雅代(非常勤)
午後	一般外来	岩﨑　貴士	廣田　晋一 （第１・３・５週）	庄野　信 （第１・３週）	古閑　千裕	岩﨑　貴士 （第１・３・５週）
			三原　通晴 （第２・４週）	三原　通晴 （第２・４週）		鈴村　智子 （第２・４週）

① 当院では、再診予約制を行っております。診察時に次回予約をお取りください。
　予約変更等の問い合わせにつきましては、平日午後（13時～16時30分）にお願いします。
② 予約外の再来患者様へ：医師の学会等で休診がございます。前日確認の上、来院をお願いします。

診察受付時間：平　日／ 8：15～11：30
　　13：30～16：30
休　診　日：土曜日・日曜日及び祝祭日
　　年末年始（12月29日から翌年1月3日）
※ 急患の方はこれに限らず24時間対応致します。



地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」がございますので、ご活用くださいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
電話：TEL096-273-2111（代表）
FAX096-272-2117（代表）

交通アクセス

路線バス　九州産交バス「A4-1」「A4-2」「U2-1」：北区役所・小野泉水 行
熊本電鉄バス「C4-4」「C4-5」：北区役所 行
いずれも「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

循環バス　ゆうゆうバス植木循環ルート
「植木病院・かがやき館前」バス停で下車

乗 用 車
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道 北熊本スマートインターから5分
　植木インターから10分

編集後記

春になると、桜の綺麗な病院に通勤できることを嬉しく思います。いい季節になったと思うと同時に、環境の大切さを実感します。ナイチンゲールも著書の中で新鮮な空気や生活環境の大事さを述べており、現代の感染対策と通じるものがあります。

新型コロナウイルス感染症が大流行した2020年は、彼女の生誕200年の年でした。あれから2年、今はウィズコロナの時代と言われていますが、感染対策として3密の回避やソーシャルディスタンスを保つことは新しい生活様式として継続していきたいものです。